

◆仏教婦人会第四回仏教講演会

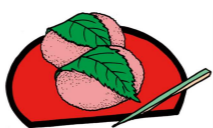
三月八日（木）二十九年度最後の「第四回仏教講演会」を開催しました。ご講師は、ここ数年三月はおなじみの安方哲爾先生です。

あいにくの氷雨の一日でしたが、皆さんお話を楽しみにしていらっしゃる方ばかりです。冷たい雨も厭わず、遠方からお聴聞にお越しいただきました。安方哲爾先生は、いつも平易な言葉と親しみやすいたとえ話で、浄土真宗のご法義をお話されます。

今回も、お浄土について理解しようとしなくてよい。阿弥陀様のお言葉を聞いたか聞かないかを問題にするのが浄土真宗である。阿弥陀様の声とは、あなたが称える南無阿弥陀仏のお念仏である。お念仏が私の命の上に響き渡るのを聞いておきなさいとおっしゃられたのが阿弥陀仏という仏

のです。お念仏の生活とは、そのことを素直に受け止め、ナマンドブツと阿弥陀様のお声を聞くことから始まる生活なのです。

まずは皆様、ナマンドブツとお念仏を声を出して称えてみてください。



◆善養寺墓苑春の彼岸会法要

三月二十一日、善養寺墓苑において恒例の春の彼岸会法要を勤めました。墓苑での法要は、平成十九年の墓地再整備以後毎年勤めてきましたが、今回初めての雨の中での法要となりました。この日は、大変寒い日でしたので、果たしてお参りの方はいらっしゃるのだろうかとお心配しましたが、三家族ほどがお参りにお越ししました。中止せずに勤めて良かったと思います。

昨今、墓じまいなる言葉が聞かれます。事情は様々でしょうが、やはりご先祖あっての私です。私が今こうしてここに生きているのは、不思議な不思議なご縁のより、私がいるのです。



様であると話されました。

では、阿弥陀様の声を聞くとはどういうことでしょうか。

「唯心鈔文意」という親鸞聖人の書物には

「・・・法身はいろもなし、かたちもましまさず。しかれば、こころもおよばれず、こころもたえたり・・・。」とあります。法身は「ほっしん」と読み、阿弥陀仏のことを言います。阿弥陀様は、私たち凡夫には姿も見えず、まして声も聞こえない。だからこそ、阿弥陀様が南無阿弥陀仏の声となって、私の上にお現れになって下さるといふのです。

私が発したナマンドブツのお念仏が、確かに私が発しているのですが、その声はそのまま阿弥陀様のお声として聞いてくださいよ、ということなのです。私が称えているナマンドブツの言葉に、阿弥陀様はいつでもどこでもいらっしゃるといふ

そのようなご先祖との深いご縁に思いを寄せるのに、お墓が一番ふさわしい場所であると思えます。

次回の墓苑での法要は、八月十三日です。お盆です。どうぞご家族お揃いでお参りください。

◆平成三十年永代経法要

四月二十一、二十二日の二日間、本年の「永代経法要」を勤めました。二日間とも天候に恵まれ、大変多くの方にお参りいただきました。

当山は、永代経法要と報恩講法要では仏教婦人会の方のご協力でお齋（昼食）を出させていただいています。すべて手作りでも美味しいと評判です。

お齋とお説教には、当山のご法義相統の思いがこもっています。門信徒の方に納めていただけたら、お米とご懇志によりお齋を作り、皆でいただきます。お供えを皆で共有するわけです。皆でお齋をいただ



き、阿弥陀様のお慈悲と智慧を味わうのです。
さて、今年のご講師は、広島の江田島市から護
山智孝師にお越しいただきました。師の明るく平
易な言葉でのご法話を皆さん熱心にご聴聞なさい
ました。

護山師のご法話の中で、蓮如上人と一休さんの
エピソードがありましたので少し紹介します。

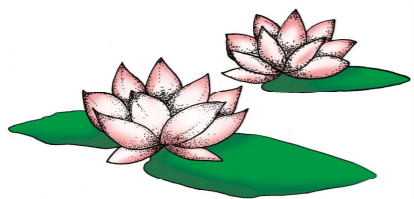
本願寺第八世ご門主である蓮如上人と臨済宗の
一休さんはともに室町時代の人で、お互い親交が
ありました。

浄土三部経の仏説阿弥陀経を見た一休さんがあ
るとき蓮如さんに歌を送りました。

「極楽は 十万億土と説くならば
足腰立たぬ 婆は行けまじ」
すると蓮如さんは次のように返しました。

「極楽は 十万億土と説くなれど
近道すれば 南無のひと声」

「南無のひと声」を発するのは老若男女かま
わず出来ます。たとえ言葉を発せられない赤子で
あっても、阿弥陀様はおわかりなのです。



永代経法要に關してもう一つ。写真の通り、永
代経法要では、今年の年回法要に該当する方全員
の法名を前におまつりします。今年、年回法要の
方を偲ぶとともに、阿弥陀様のもとで仏様になら
れた方への感謝の気持ちを表す法要とも言えるで
しょう。

◆その他

「平成三十年仏教婦人会總會並びに
第一回仏教講演会」

別紙の案内状の通り、五月二十九日（火）に仏
教婦人会總會と第一回仏教婦人会總會を行いま
す。今年のゲストは、ガンを克服され、全国で活
躍なさっている「歌う尼さん」であるやなせなな
さんにお越しいただきます。どうぞ一人でも多く
の方のお聴聞をお待ちしています。總會は、婦人
会会員限定ですが、十三時からの講演会はどなた
でも参加できます。ご家族やご友人も誘ってお越
し下さい。

九月の「善養寺おてらくご」は九月二十二日
（土）午後に決定しました。どうぞご都合に付け加
え下さい。

五月のことば

めぐり会いの不思議に手を合わせよう

坂村真民
